

学校生活についてのアンケート調査の結果について

1 調査の概要

(1) 調査目的

学校生活についてのアンケート調査は、各学校においては、児童生徒の実態を把握し、いじめの未然防止や早期発見・早期解決につなげることを、教育委員会においては、藤沢市全体の傾向を把握して今後の施策に反映することを目的として、全市立小・中学校の児童生徒を対象に実施しています。

(2) 実施時期 2022年7月

(3) 調査対象 全市立小・中学校児童生徒

小学生（単位：人）

1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	回答率
3,852	3,796	3,807	3,870	3,875	3,902	23,102	96.1%

中学生（単位：人）

1年	2年	3年	計	回答率
3,587	3,624	3,661	10,872	90.1%

※回答率は令和4年5月1日現在の児童生徒在籍数に対する回答数の割合です。

※欠席者等がいるため、回答率は100%になっていません。

(4) 調査・回収方法 無記名または記名で回答し、記入後その場で回収

Google フォームを活用した電子版での回答も今年度から実施

(5) 調査内容 「学校生活についてのアンケート」

原則として、一昨年より設問内容を同内容としていますが、今年度は、電子版での回答項目にあわせる必要があり、一部（設問2、6、8、10）追加しております。

設問1～5 「学校生活の中で嫌な思いをしている児童生徒の把握」

設問6・7 「相談状況の把握」

設問8・9 「自己の行動の見直し」

設問10・11 「周囲の児童生徒の意識」

設問12 「コロナ禍での不安や心配、困っていること」（自由記述）

設問13 「その他の不安や心配、困っていること」（自由記述）

2 調査結果の分析の観点

(1) 児童生徒の学年別での実態把握と、昨年度の状況との比較

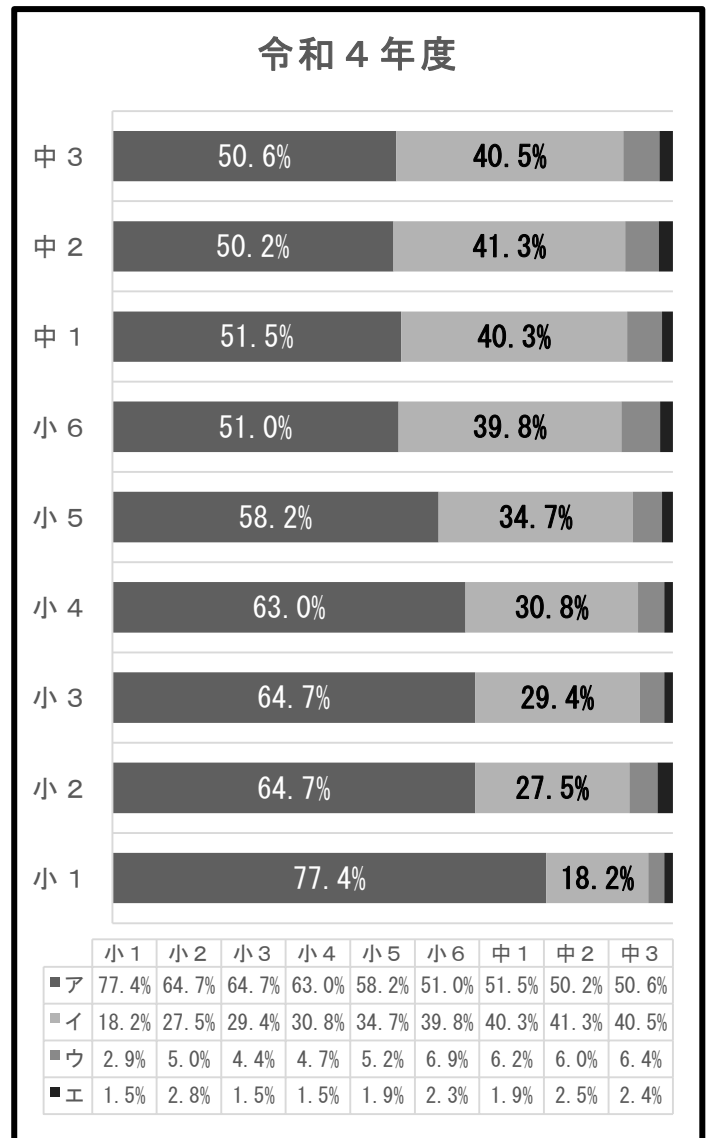
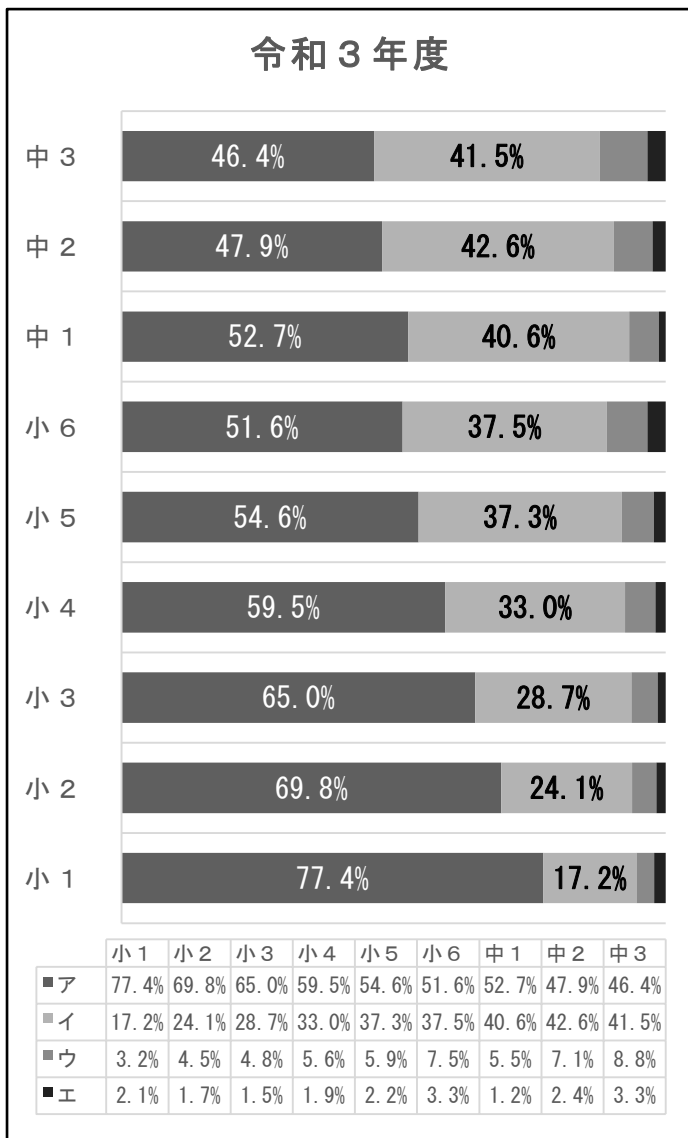
(2) 嫌な思いをしている児童生徒と嫌な思いをさせた児童生徒、嫌な思いをしている児童生徒を見たり聞いたりした児童生徒の割合

(3) 近年問題視される、パソコン、携帯電話・スマートフォン等に関わる割合

(4) 新型コロナウイルス感染症に関連した冷やかし等に関わる割合

3 調査結果の分析

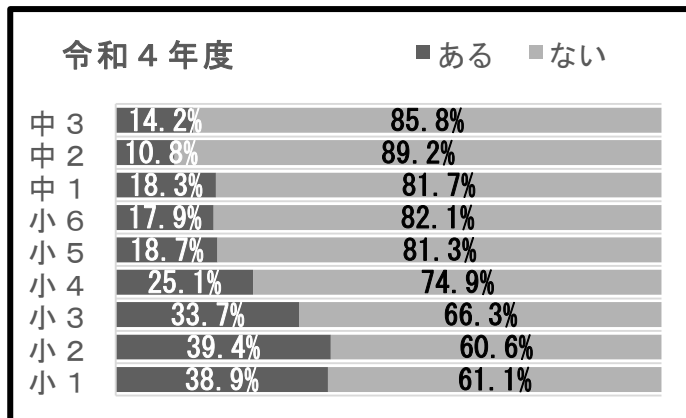
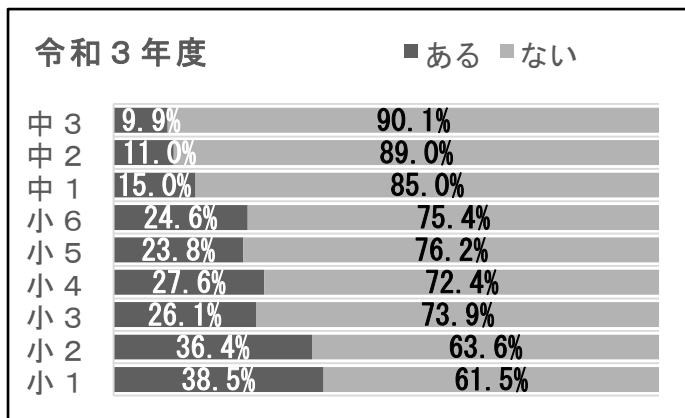
(1) 学校は楽しいですか。



ア 楽しい イ まあまあ楽しい ウ あまり楽しくない エ 楽しくない

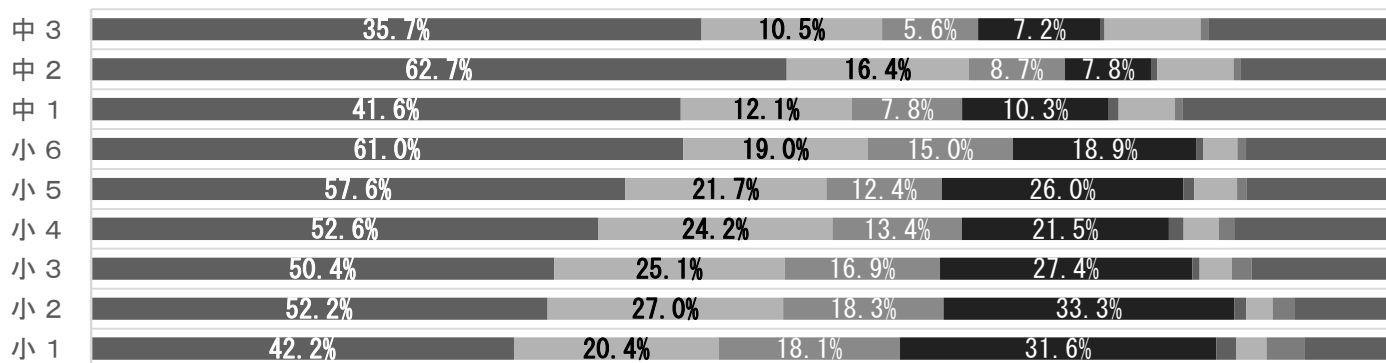
令和4年度において、学校が「楽しい」「まあまあ楽しい」と回答した児童生徒は、90%以上となっている。「楽しくない」の数値が最も高い学年は小2、中2となっており、令和3年度よりも高い割合となっている。また、小・中学校いずれにおいても、「楽しい」「まあまあ楽しい」と回答した児童生徒の割合は、1年生が最も高く、中学校においては、どの学年も同程度である。

(2) 学校生活の中で、周りの人からされたことで、嫌な気持ちになったことがありますか。



(3) (2)で「ある」と答えた人で、周りの人からされた嫌なことで、あてはまるものをすべて選びましょう。※複数回答可

※(2)の設問で「ある」と回答した児童生徒数をもとに計上

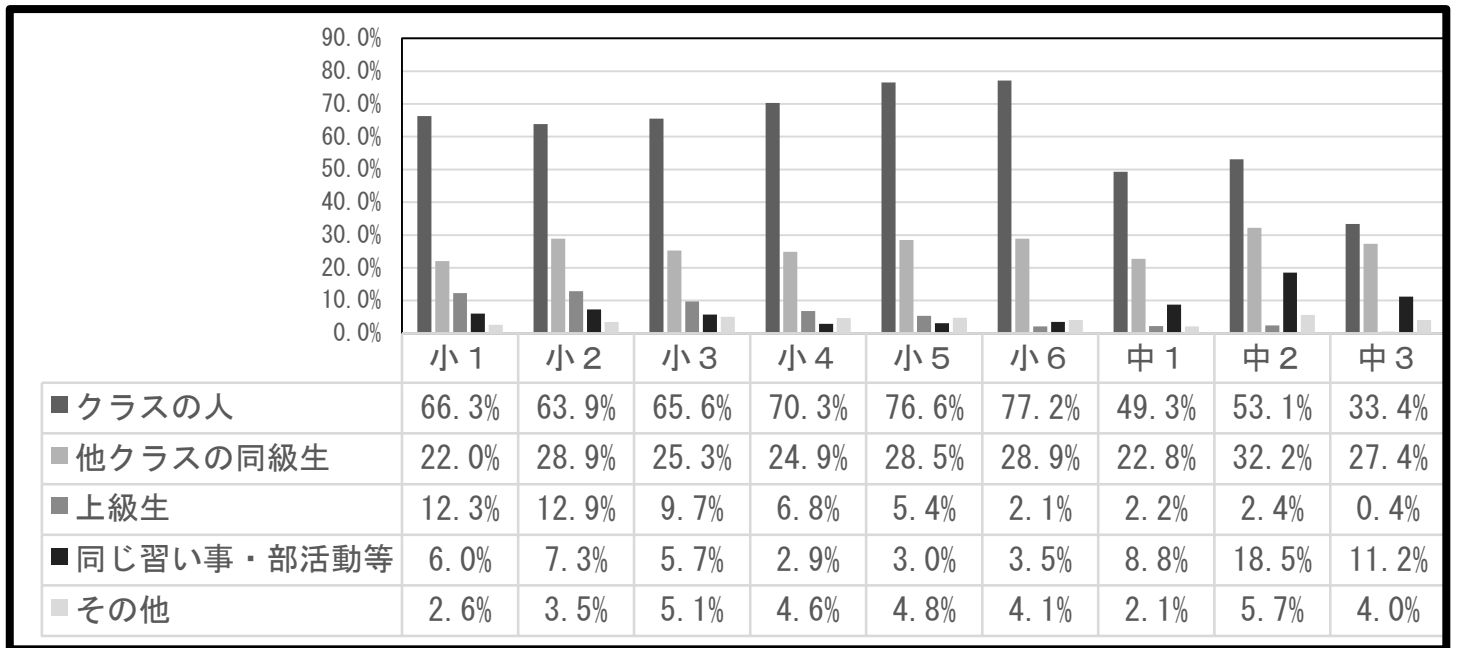


	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
■冷やかし からかい 悪口	42.2%	52.2%	50.4%	52.6%	57.6%	61.0%	41.6%	62.7%	35.7%
■仲間外れ 無視	20.4%	27.0%	25.1%	24.2%	21.7%	19.0%	12.1%	16.4%	10.5%
■物をとられる 隠される	18.1%	18.3%	16.9%	13.4%	12.4%	15.0%	7.8%	8.7%	5.6%
■殴られる 蹴られる	31.6%	33.3%	27.4%	21.5%	26.0%	18.9%	10.3%	7.8%	7.2%
■お金をさせられる等	2.0%	1.4%	0.8%	1.5%	1.2%	0.8%	0.7%	0.6%	0.2%
■手紙 パソコン スマホ	3.0%	3.0%	3.5%	3.6%	4.6%	3.5%	4.0%	6.9%	5.6%
■コロナ噂・疑い・冷やかし	3.8%	2.6%	2.1%	1.6%	1.0%	0.9%	0.5%	0.6%	0.4%
■その他	8.8%	11.2%	15.3%	16.4%	15.8%	15.1%	14.8%	13.7%	10.8%

「嫌な気持ちになったことがありますか」という設問において、「ある」と回答した児童生徒の割合は、昨年度同様に、概ね学年が上がるにつれて低くなる傾向にある。

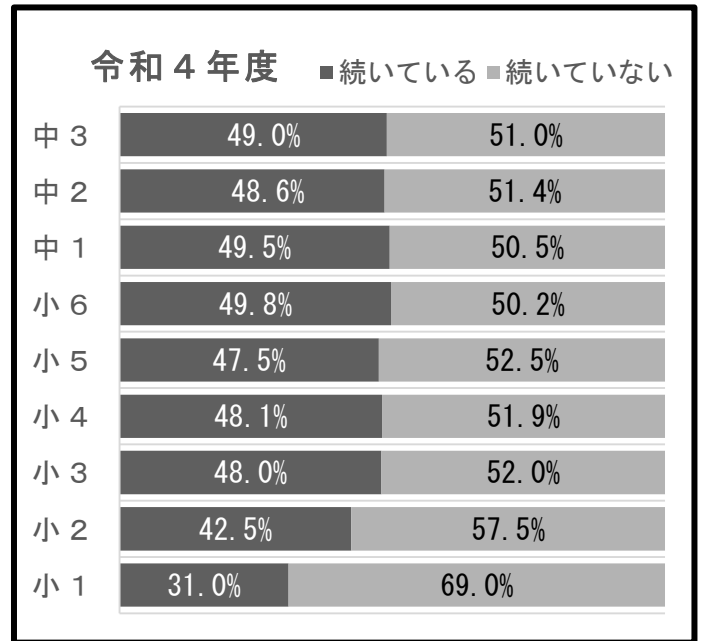
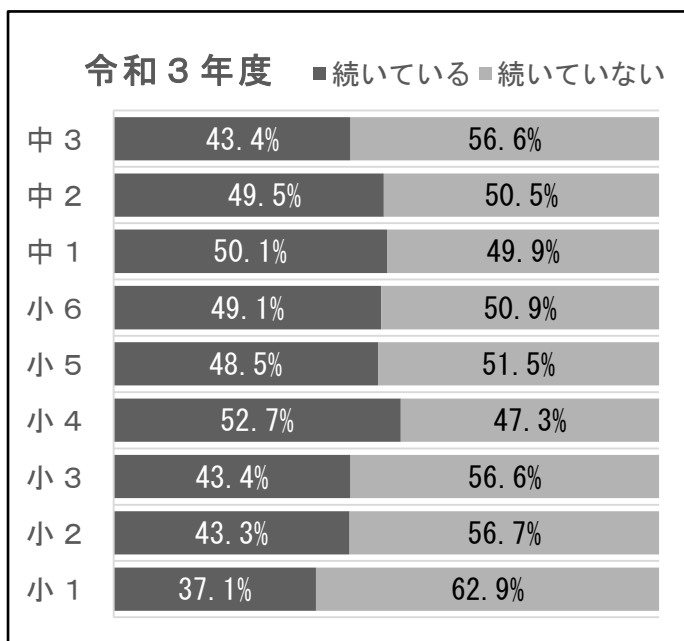
その種類では、どの学年も「冷やかし、からかい、悪口」が最も多くなっている。次いで、中学校では、「仲間外れ、無視」、小学校では、「殴られる 蹴られる」となっている。「手紙 パソコン スマホ」とするものは、各学年、3%から7%程度の児童生徒が、嫌な気持ちになっている。「新型コロナウイルス感染症のことで嫌なことを言われた」と回答した割合は、小1が最も高く、概ね学年が上がるにつれて低くなる傾向にある。

(4) 嫌なことを誰からされましたか。※複数回答可



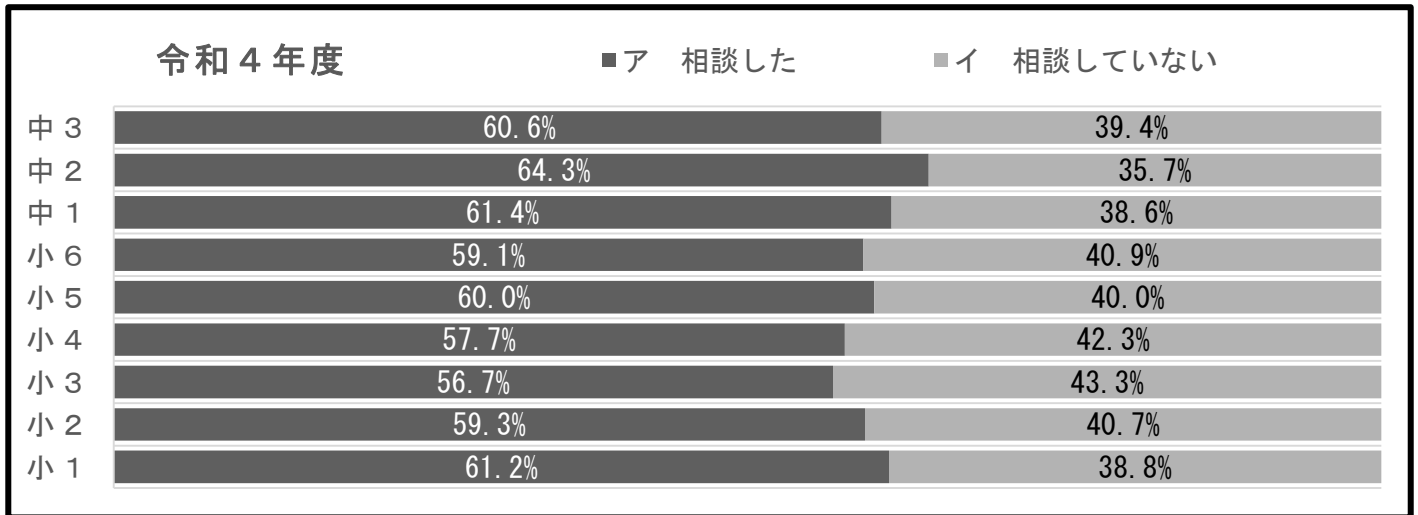
(2) の設問で、「嫌な気持ちになったことがある」と回答した児童生徒のうち、「クラスの人」にされたと回答した割合が最も多く、続いて「他クラス同級生」となっている。また、小1・小2・小3では、「上級生」と回答した割合が、他の学年に比べて高く、中2・中3では、「同じ部活動の人」を回答した生徒が10%を超えている。

(5) 嫌なことは今も続いていますか。

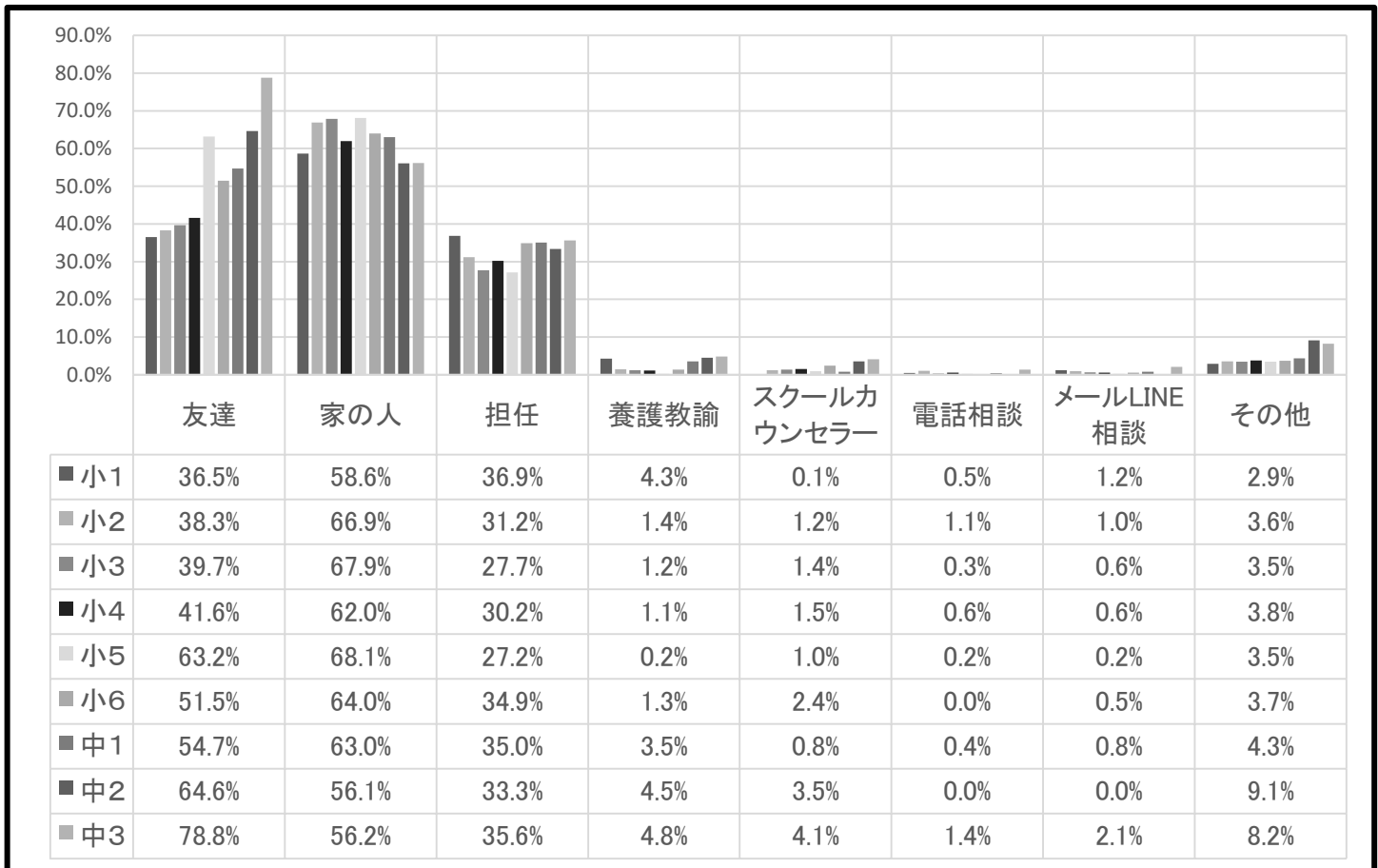


「続いている」と回答した割合が最も高かったのは小6で、「続いていない」と回答した割合が最も高かったのは小1であった。
特に小3以上は、半数近くの児童生徒が「続いている」と回答している。

(6) 嫌なことを誰かに相談したりしましたか。



(7) (6)で、「相談した」と答えた人に聞きます。相談した相手にあてはまるものをすべて選びましょう。※複数回答可



「相談をしていない」と回答した児童生徒の割合は、小中学校ともに、4割程度となっている。
 また、相談した相手として、小学校では「家の人」が最も多く、中学校では、「友達」の割合が多く、中2・中3では、60%を超えている。
 なお、「その他」には、他のクラスの先生や部活動の顧問、児童支援担当教諭等が含まれている。

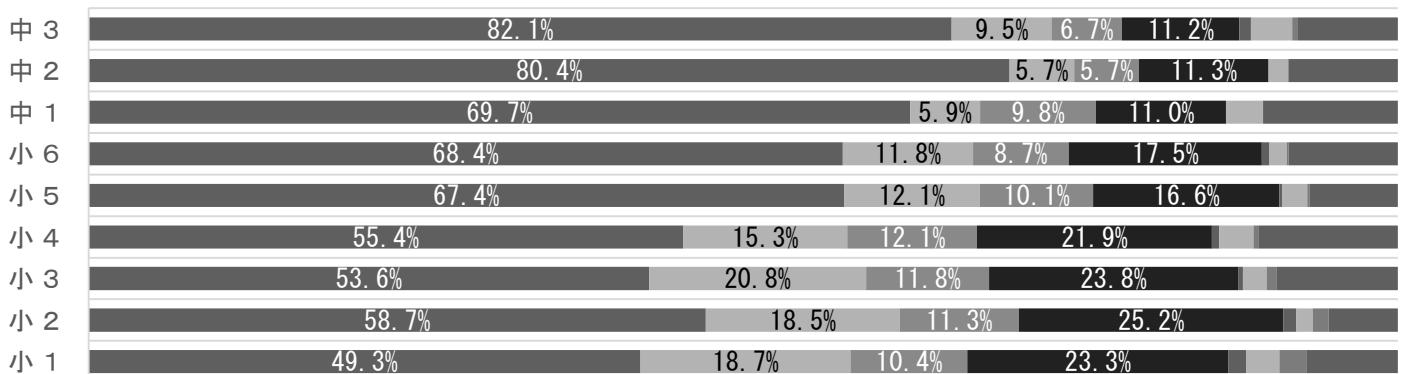
(8) あなたは、周りの人が嫌な気持ちになるようなことを言ったりしたりしたことがありますか。

令和3年度		■ある	■ない
中3	7.5%	92.5%	
中2	9.5%	90.5%	
中1	11.3%	88.7%	
小6	17.1%	82.9%	
小5	15.5%	84.5%	
小4	14.7%	85.3%	
小3	15.2%	84.8%	
小2	20.2%	79.8%	
小1	19.0%	81.0%	

令和4年度		■ある	■ない
中3	7.0%	93.0%	
中2	8.3%	91.7%	
中1	9.3%	90.7%	
小6	15.3%	84.7%	
小5	12.1%	87.9%	
小4	11.9%	88.1%	
小3	17.8%	82.2%	
小2	20.1%	79.9%	
小1	21.1%	78.9%	

(9) (8)で、「ある」と答えた人に聞きます。あなたが、周りの人に言ったり、したりしたことにあてはまるものをすべて選びましょう。あてはまるものがない場合は、「その他」を選んで、くわしく書いてください。※複数回答可

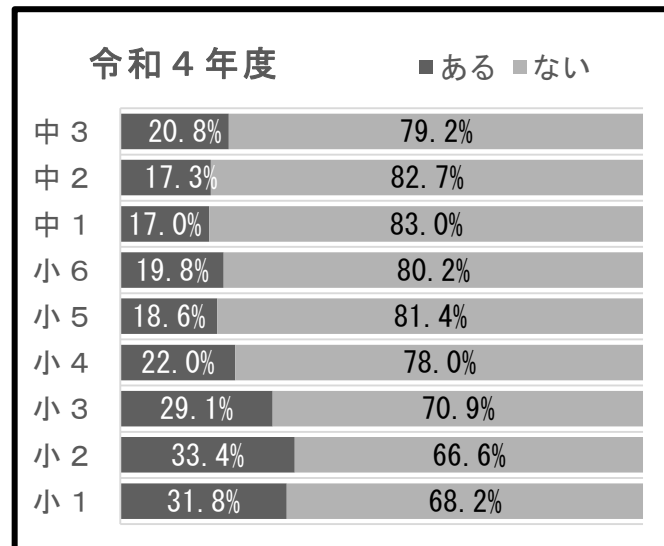
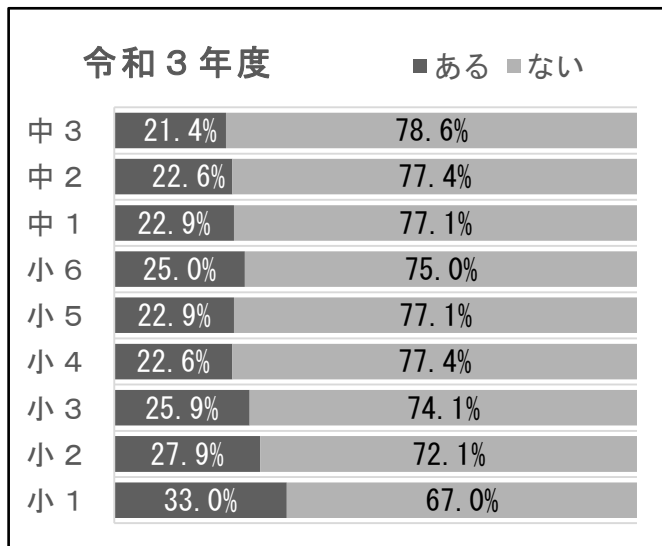
※設問(8)で「ある」と回答した児童生徒数をもとに計上



	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
■冷やかし からかい 悪口	49.3%	58.7%	53.6%	55.4%	67.4%	68.4%	69.7%	80.4%	82.1%
■仲間外れ 無視	18.7%	18.5%	20.8%	15.3%	12.1%	11.8%	5.9%	5.7%	9.5%
■物をとる かくす	10.4%	11.3%	11.8%	12.1%	10.1%	8.7%	9.8%	5.7%	6.7%
■殴る 蹴る	23.3%	25.2%	23.8%	21.9%	16.6%	17.5%	11.0%	11.3%	11.2%
■お金出させる等	1.6%	1.3%	0.5%	0.7%	0.2%	0.7%	0.0%	0.0%	1.1%
■手紙 パソコン スマホ	2.9%	1.5%	2.3%	3.2%	2.2%	1.6%	3.1%	1.7%	3.9%
■コロナ噂・疑い・冷かし	2.4%	1.5%	1.0%	0.5%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.6%
■その他	8.2%	6.6%	11.6%	13.0%	7.9%	9.9%	11.4%	9.6%	9.5%

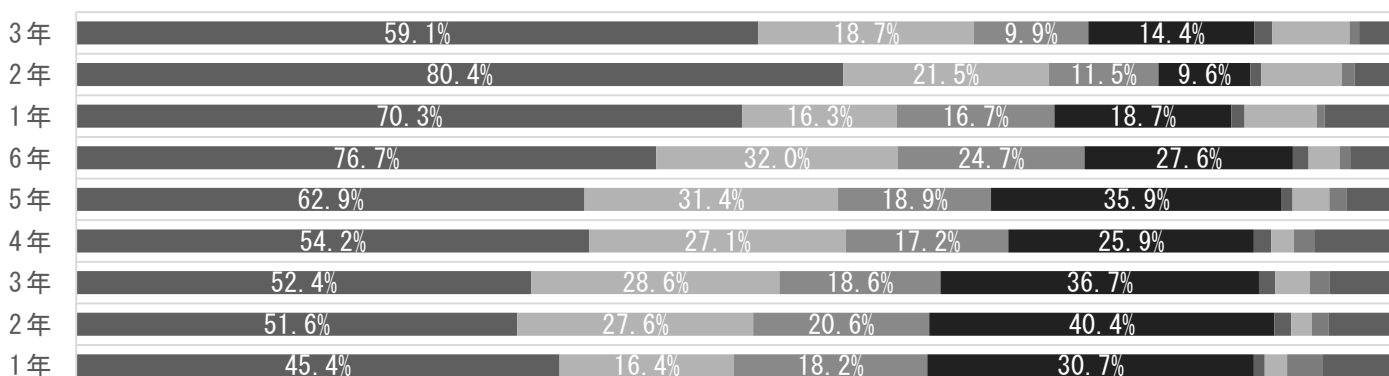
嫌な気持ちになるようなことを言ったりしたりしたことが「ある」とする児童生徒の割合は、概ね学年が上がるにつれて低くなる傾向にある。昨年度と比較すると、小1・小3を除き、「言ったりしたりした」の割合は減少している。具体的な行為としては、どの学年も「冷やかし、からかい、悪口」が最も多く、次に「殴る、蹴る」となっている。

(10) 嫌なことをしている人を見たり聞いたりしたことがありますか。



(11) (10)で「ある」と答えた人に聞きます。見たり聞いたりしたことについてあてはまるものをすべて選びましょう。あてはまるものがない場合には、「その他」を選んで、くわしく書いてください。※複数回答可

※設問(10)で「ある」と回答した児童生徒数をもとに計上



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
■冷やかし からかい 悪口	45.4%	51.6%	52.4%	54.2%	62.9%	76.7%	70.3%	80.4%	59.1%
■仲間外れ 無視	16.4%	27.6%	28.6%	27.1%	31.4%	32.0%	16.3%	21.5%	18.7%
■物をとられる かくされる	18.2%	20.6%	18.6%	17.2%	18.9%	24.7%	16.7%	11.5%	9.9%
■殴られる 蹴られる	30.7%	40.4%	36.7%	25.9%	35.9%	27.6%	18.7%	9.6%	14.4%
■お金をさせられる等	1.0%	2.0%	1.9%	1.9%	1.3%	2.1%	1.4%	1.2%	1.5%
■手紙 パソコン スマホ	2.1%	2.4%	4.0%	2.4%	4.6%	4.1%	7.6%	8.5%	6.7%
■コロナ噂・疑い・冷かし	3.4%	2.0%	2.2%	2.2%	2.1%	1.4%	0.8%	1.3%	0.9%
■その他	7.1%	8.2%	8.0%	8.9%	6.5%	6.4%	7.8%	4.6%	3.4%

昨年度と比較すると、小2・小3を除き、「見たり聞いたりした」の割合は減少している。どの学年も「冷やかし、からかい、悪口」「殴られる、蹴られる」が多く、次いで、「仲間外れ、無視」が多い。小学校の「殴られる、蹴られる」では、特に小1・小2・小3・小5の割合が、他の学年に比べ高い。

(12) 新型コロナウイルス感染症に関連したことで、心配や不安、困っていることがある人は書いてください。(自由記述)※一部抜粋

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> ・後遺症が怖い。 ・自分がかかってしまったら、家族や友達に迷惑をかけてしまうと思うと心配。 ・マスクをいつ外していいのか分からない。 ・マスク生活が辛い。 ・コロナウイルスにかかりたくないからマスクを外せない。 ・手を洗わないで教室に入る人がいる。 ・ワクチンを打つか打たないか悩んでいる。 ・学校行事が中止になってしまうかもしれないこと。 ・学校が休校になってしまうかもと不安。 ・学校にくるのが怖い。 ・みんなの素顔がマスクで見られないから不安。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もし気がつかないで感染していて、みんなにうつしたらと思うと不安。 ・コロナに感染したら悪口を言われそうで怖い。 ・誰がかかってもおかしくないのに、かかった人を責める人が出ないか心配。 ・体育中などはマスクを取ってよいということだが、周りの人も外していないので外しにくい。本当に外して大丈夫なのかと心配。 ・熱中症の危険性があるからマスクを外したい。 ・行事を無くしたり短縮したりしないでほしい。 ・授業保障はあるのか。 ・受験に関わってくるので心配。 ・早くコロナ禍前のような普通の日常をこの中学校で送りたいと思っている。

小・中学校ともに、新型コロナウイルスに関して、「また感染したら怖い」という再感染を心配する声が多くみられた。感染した後、友達から差別されないか、家族に迷惑をかけないか等、周囲からの反応を心配する声もあがった。また、マスクについては、つけることでの息苦しさや熱中症の心配、外すことで感染するのではないかという不安等、どちらの考えもみられ、中には、マスク生活が続き、相手の顔が見えないことへの不安、以前のような日常を望む声等もあがっている。学習については、授業の遅れやテスト・受験への影響を心配する記述がみられた。

(13) この他に、困っていることなど、先生に伝えたいことがあれば自由に書いてください。(授業のこと、習い事、家でのこと、家族のこと、など) (自由記述)※一部抜粋

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の使い方について。 ・兄姉にいじめられる(殴られる、蹴られる)。 ・悪口を言われてないか不安。 ・学校の中であまり友達が作れず、いつも同じ子といてしまう。 ・習い事(児童クラブ、学童)で殴られたり蹴られたりする。 ・授業の進みをもう少し遅くしてほしい。授業のスピードについて行けない。 ・児童指導で授業を潰されることが嫌だ。 ・話すのがとても苦手。悪気なく相手が傷つくことを言ってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホを見すぎてしまうことが多い。 ・親のことで悩んでいる。 ・家でのことで困っていることがあるけど、どう伝えたらいいかわからない。 ・勉強してもテストの点が上がらない。 ・勉強の仕方がわからない。 ・家族内で受験前のピリついた空気にストレスを感じる。 ・クラスの人とあまり喋れなくて、最近では学校が楽しくないと思うときがある。 ・自分の良いところが見つからない。 ・変な校則をなくして。

小・中学校ともに、授業の進度が早い、難しい、騒がしい等の授業の様子や学習に関する記述が多くみられた。また、親やきょうだい関係等の家庭内での悩みを抱える声もあった。

小学校では、児童クラブや習い事でのトラブル、通いたくない等の悩みがみられた。中学校では、友達との付き合い方や自分の居場所がない等の悩みを一人で抱えている生徒が多くみられた。

4 調査結果の考察

- (1) 設問2の「嫌な気持ちになったことがありますか」と、設問8の「人が嫌な気持ちになることを言ったりしたりしましたか」において、「ある」と回答した児童生徒の割合は、概ね学年が上がるにつれて減る傾向にあります。小学校は、中学校より「ある」と答えた割合が高くなっています。感じ方の違いが、設問2と設問8を比べるとはっきりと表れています。自分は嫌なことを言ったつもりがなくても、相手にとっては嫌だと感じる場合があります、感じ方がそれぞれ違うということに気付けるよう、人権意識を高める必要があります。
- (2) 設問2の「嫌な気持ちになった」という内容において、「手紙、パソコン、スマートフォンなどで嫌なことをされた」を選択した割合は、概ね学年が上がるにつれ増えています。子ども達の日常にスマートフォンの使用、SNS等でのやりとりが当たり前になっていることを踏まえ、周りから見えづらく、相談しにくいものとして、今後さらに増えることが懸念されます。これまで以上に、情報モラル教育や心の教育を充実させていく必要があります。
- (3) 設問4の「誰からされましたか」では、小学校ではどの学年においても「クラスの人」という割合が半数以上を占めています。今後、クラスにおける人間関係づくりやいじめ防止の取り組みを系統立てて、学校において組織的に未然防止に努める必要があります。また、中学2・3年生では、「他クラスの同級生」の割合が高くなり、「同じ部活動の人」「同じ習い事の人」の割合も一定数みられます。これは、学校内において活動の場が広がることや塾等の場において嫌な気持ちになっていることが考えられます。いじめ防止対策は、学校内だけでなく、家庭や地域、関係機関等とも連携して取り組む必要があります。
- (4) 設問5の「今も続いていますか」において、小学校3年生以上では「続いている」と回答した割合は、約半数となります。各学校では、「学校いじめ防止基本方針」に則り、対応するとともに、継続的な支援を行っています。設問6において、「相談していない」という子ども4割いることから定期的なアンケートの実施や面談等を行い、実態の把握や指導体制の見直し等に努める必要があります。また、「SOSの出し方教育」に、しっかり取り組むとともに、児童生徒が相談できる窓口について、子どもたちが利用しやすい形で周知していく必要があります。
- (5) 設問12の「新型コロナウイルス感染症に関連した心配や不安」において、感染に対する不安は、昨年度に引き続き多くみられました。また、マスクについて、息苦しさや熱中症の心配から「マスクを外したい」という声がある一方、感染に対する不安から「マスクをつけたい」という声もありました。児童生徒が自身の健康を第一に考えマスクの着脱ができるよう、学校は適切な声かけをするとともに、マスクの着脱によって差別や偏見がないよう指導していく必要があります。コロナ禍前のような生活を望む声も一定数あり、制限のある生活に不安を感じている様子も伺えます。
- (6) 設問13の「学校内外のことで、困っていることなど」において、昨年に引き続き、家族の不仲や身内からの暴力等、家庭内のトラブルについての記述が一定数ありました。また、学校の授業の進度が早い、内容が難しい、教室が騒々しく集中できない等、授業における不安や不満もみられました。中学校においては、居場所がなく不安になっていたりと、悩みを相談できずいたり、問題を一人で抱えている生徒がみられました。中には、緊急の対応が必要な記述もあったことから、学校だけで抱え込むことのないよう、必要に応じて、関係機関や専門家につながる等の相談支援体制の更なる構築に努めるとともに、相談しやすい環境づくりや安全安心な学校生活を送れるようにする必要があります。

5 今後の取組

いじめの問題については、「藤沢市いじめ防止対策基本方針」及び各学校で改定された「学校いじめ防止基本方針」に基づき、学校と教育委員会、関係機関が連携し、更なるいじめの未然防止や早期発見・早期対応を推進していきます。

また、コロナ禍の不安や心配、学校内外での困りごとについて、児童生徒の安全安心につながるような取組の充実に努めていきます。

- (1) 学校は、児童支援担当教諭、生徒指導担当を中心に、「学校いじめ防止基本方針」に則って、学校内において情報を共有し、組織として支援指導していくことが重要になるため、スクールカウンセラーや関係諸機関を活用し専門的な助言を受けながら、さまざまな課題を抱える子どもたち一人ひとりのニーズに応じた対応を行っていきます。
- (2) 学校は、「特別な教科 道徳」をはじめ、教育活動全体を通して、「自分を大切にするとともに、他の人を大切にする」という人権意識や、自分の行動を律する規範意識を育むことができるよう努めます。
- (3) 学校は、児童生徒が安心でき、楽しく充実感を得られる場になることが肝要です。そのためには、児童生徒が安心できる心の居場所となるよう教職員全体で「居場所づくり」を行うとともに、児童生徒が主体的・協働的な活動を通してお互いを認め合い、絆を紡ぎ合えるような「絆づくり」の視点を大切にされた学校・学級づくりに努めます。
- (4) 「パソコンやスマートフォンで嫌なことをされた」児童生徒が、今後も増加していくことが懸念されることを踏まえ、学校と教育委員会が連携し、児童生徒に対する情報モラル教育の一層の推進を図るとともに、保護者に対しても、情報モラルに関する情報を提供したり、インターネットやスマートフォンの利用について、家庭で約束事を決めるなど、家庭での指導についての啓発等に努めます。
- (5) 教育委員会では、悩みを相談できない児童生徒が、対面での相談につなげることができるように、グーグルアカウントを活用した「藤沢市子ども相談フォーム」を実施し、相談体制の充実に努めていきます。
- (6) 学校は、新型コロナウイルス感染症に関連する差別や偏見、不安や心配等については、引き続き、効果的な教材等を活用し、児童生徒が互いを励まし・支え合える関係を構築できるよう努めます。また、感染症対策を十分に行いながら、学級活動や学校行事などで、子ども達の活躍の場を作り、充実感や達成感を味わうことのできる活動の工夫に取り組みます。
- (7) 学校では、家庭内での悩みについては、子どもの様子を継続して見守るとともに、学校組織として情報共有をはかり、場合によってはスクールソーシャルワーカーを要請するなどして、関係機関と連携して支援に努めます。
- (8) 教育委員会では、教職員のいじめに対する意識や対応力を高めるために、スクールロイヤーや、いじめ防止対策担当スクールカウンセラーによる研修会を充実させます。